

詩吟神風流機関紙

# 神風流



第168号  
令和5年4月16日

全日本詩吟道連盟理事長

詩吟神風流 総元

三代目 岩淵 神風

皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。恒例の新年全国詩吟大会兼吟詠コンクール決勝大会が北とびあさくらホールにて開催できましたこと誠に喜ばしく、多くの皆様方に御協力をいただきまして心より御礼申し上げます。

古の人々が詠んだ漢詩文を朗々と誦し上げるのが詩吟でございます。詩の心を読み解いていきますと、どれ程か学ぶことがあります。今の時代、先行きが不安な社会情勢ではありますが、だからこそ詩吟は、心の豊かさをもたらすものであると、多くの人に知っていただければと思います。

日本の伝統芸術としての詩吟を全国に普及するという使命をもって、全日本詩吟道連盟は、設立以来、各地区ごとのコンクール予選会を継続的に開催して参りました。全国の指導者の先生方のご指導、尽力のお

陰と心より感謝を申し上げます。また、コンクール出場者、ご出吟の皆様方の日頃のご努力は並々ならぬものと頭の下がる思いでございます。

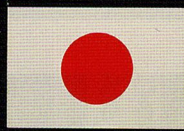
大会プログラムの巻頭にも書きました吉田松陰の言葉、「一心不乱になりさえすれば」とありますように、何事も真摯に学び一心不乱に稽古をされてきたという事実は何物にもかえ難く、人生において大変価値あるものでございます。これからも詩を吟じ続けていただきますようお願いしております。「何かをなしとげなければならぬ」という気概と覚悟を吉田松陰の言葉から感じますが、大きく時代が変わろうという時でも、信念を持ち、前進する。私自身、精進して参る所存でございます。共に詩吟を、詩の心を多くの人にこれからも伝えて参りましょう。今後ともよろしくご協力をお願い申し上げます。

(大会御挨拶より)

第53回 新年全国詩吟大会

令和5年2月26日 北区北とびあさくらホール

## 第53回 新年全国詩吟大会 兼各杯コンクール決勝



祝思ふ 心にまごころ 祝ごころ  
今日のおとせ 何とせきくらむ

